

第7回県民公開講座



岐阜県図書館

平成27年2月11日（水・祝日） 13時30分～16時30分

7回目となる今回は、寒い中121名の出席がありました。
安田会長に挨拶、浅野理事より本会の紹介して頂き、講演にうつりました。

講演1は、JA岐阜厚生連岐北厚生病院名誉院長 山本 悟先生に「乳がん検診のすすめ」と題して講演されました。現在、全生涯で女性は14人に1人が乳がんにかかるといわれています。乳がん検診は数あるがん検診の中で受けるメリットの大きい検診で、検診受診率の向上にともなって乳がんによる死亡率が下がることが証明されています。また乳がんは他の癌に比べ治りやすい癌だといわれており、積極的に乳がん検診を受けて頂きたいとお願いされました。

講演2は、岐阜大学医学部附属病院放射線科 大野 裕美先生に「マンモグラフィーと最新の乳がん診断について」と題して講演されました。近年において次世代型マンモグラフィー「トモシンセンス」と呼ばれる撮影技術が開発され、従来のマンモグラフィーで検出できなかった病変についても評価が可能となりました。実際の画像を提示して頂き、その有用性と限界について紹介されました。

最後に、ぎふ総合健診センター 吉川 典子会員に「安全・安心・信頼できる乳がん検診」について検診の現状を紹介していただきました。

会場からはさまざまな質問があり、乳がん発症後でも子供を産むことが可能か？乳がんの検診は可能か？など、県民の乳がんに対する関心の高さに関心いたしました。



山本 悟先生



大野 裕美先生

